

VMware vSphere with Operations Management

概要

仮想化は、コスト負担の大きいインフラストラクチャの無秩序な拡張を防止します。仮想環境を拡大するには、信頼性に優れた仮想化プラットフォームを選択することが重要です。そのプラットフォームで、システムを停止させずに、ビジネス クリティカルなアプリケーションの実行、アプリケーションのスケール アップおよびスケール アウト、ハードウェア投資における投資回収率 (ROI) の最大化、およびパフォーマンスの向上を実現する必要があります。

VMware vSphere® with Operations Management™ は、一貫した管理機能を備えた、業界をリードする仮想化テクノロジーにより、多様なビジネス ニーズを満たすことができ、インフラストラクチャとアプリケーションで最高レベルのパフォーマンス、可用性、効率性を実現するよう設計されています。また、統合コンソールにより仮想環境全体を把握できるほか、パフォーマンスの監視やリソース使用率の最適化も可能になるため、SLA が強化され、インフラストラクチャとアプリケーションの可用性、および IT リソースの使用率が向上します。

主なメリット

- IT インフラストラクチャの管理コストを 53 % 削減
- 最重要アプリケーションのダウンタイムを 54 % 短縮
- 1 年間で投資回収率 (ROI) を 2.4 倍向上
- 視認性、可用性、キャパシティ使用率、IT に対するユーザーの満足度を 30 % 向上



業界をリードする
仮想化
プラットフォーム



使いやすい
統合運用管理機能

データセンターの一貫した運用管理を実現する、業界トップクラスの最も信頼されている仮想化プラットフォーム

vSphere with Operations Management について

VMware vSphere with Operations Management は、詳細な情報と優れた IT サービスを提供することで、多様なビジネス ニーズを満たすように設計されています。高い可用性、包括的かつ一元的な視認性により、アプリケーションからストレージまでをインテリジェントに運用することで、パフォーマンスを高め、システムの中断を回避します。また、ワークロードの配置とリソースの最適化を条件に従って安全に自動化することで、ビジネス上の重要タスクにより多くの時間を費やすことができるほか、事前に設定されたカスタマイズ可能なテンプレートを使用して制御を強化することも可能です。

vSphere with Operations Management の主な機能は次のとおりです。

- **強力なサーバ仮想化**：x86 サーバリソースを仮想化して論理プールに統合し、複数のワークロードに割り当てます。
- **効率的なストレージ**：バックエンドストレージシステムの複雑さが排除されるため、仮想環境でストレージを効率的に使用できます。
- **高可用性**：計画外のダウンタイムを削減し、サーバおよびストレージのメンテナンスのための計画的ダウンタイムを排除することによって、仮想化インフラストラクチャ全体の連続稼働時間を最大にします。
- **ネットワーク サービス**：仮想環境に最適化されたネットワーク サービスを提供するとともに、管理と運用を簡素化します。
- **プラットフォームの自動化**：vSphere の正確で繰り返し利用可能なソリューションにより、定常作業を効率化することで、運用コストを削減し、エラーを最小に抑制します。
- **堅牢なセキュリティ**：業界で最もセキュアな「ベアメタル」仮想化プラットフォームによって、データとアプリケーションを保護します。
- **一貫した管理**：使いやすい統合管理ツールにより、仮想データセンターのメリットを最大化できます。
- **インテリジェントな運用**：お客様独自の環境に対応できるインテリジェントな運用管理により、タイムリーでプロアクティブなアクションにつながる情報収集が可能です。
- **運用の自動化**：ガイド付き修正機能やカスタマイズ可能なアクションによって安全にインフラストラクチャの管理を自動化しながら、管理性も維持できます。
- **インテリジェントなワークロード管理**：ワークロード バランスのプランニング機能がワークロードの最適な配置を推奨し、クラスター間でワークロードを調整します。
- **クラウド API との連携**：クラウド環境の利用方法を選択できます。

その他の vSphere 製品とアドイン

VMware vCenter Server™: vCenter Server では、仮想インフラストラクチャ全体を統合管理し、ライブ マイグレーションなどの多くの vSphere の主要機能を操作できます。また、複数の場所に分散している多数の仮想マシンを管理し、迅速なプロビジョニングやポリシー適用の自動化などの機能を使用して管理を効率化できます。

注: vCenter Server は、vSphere の完全な機能を利用するために必須です。vCenter Server は、インスタンス単位で別途ライセンスを購入する必要があります。

サポートおよびプロフェッショナルサービス

VMware は、すべてのお客様に対し、サポートおよびサブスクリプション (SnS) サービスをグローバルに提供しています。さらにご希望のお客様には、導入を開始するうえでのベスト プラクティスを提供する、コンサルティング サービスも用意しております。

<http://www.vmware.com/jp/consulting>

購入方法

詳細については、次の認定リセラーにお問い合わせください。

http://www.vmware.com/go/jp_partner

すでに VMware vSphere または VMware Infrastructure™ をお持ちのお客様は、vSphere アップグレード センターにアクセスし、お客様に適したアップグレード方法についてご確認ください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/upgrade-center/>

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、製品 Web サイトをご覧ください (<http://www.vmware.com/jp/products>)。製品の仕様およびシステム要件の詳細については、[vSphere with Operations Management](#) のドキュメントを参照してください。

